

## 支援業務課 NEWS

### 新潟県畜産経営指導指標を改訂

新潟県畜産経営指導指標は昭和39年に作成し、以降3年毎に改訂して来ましたが、この度、平成13年の前回改訂から3年が経過したことから14回目の改訂作業を行いました。

改訂に当たり、県内の畜産関係機関・団体から20名の検討委員をお願いし、この度、3年後を目標とした目標数値の骨格を決定しました。肉用牛経営では目標数値の見直しがありましたが、酪農、養豚経営では従来の数値を踏襲し、経営試算、指導マニュアルの見直しを中心に行いました。

各畜種別の概要は以下のとおりです。

#### 1. 酪農経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	初産種付時(体高)	128cm	128cm
	平均分娩間隔	13.5ヶ月以内	13.5ヶ月以内
	経産牛1頭平均体重	650kg	650kg
	経産牛1頭年間乳量	8,800kg以上	8,800kg以上
	経産牛1頭年間濃厚飼料給与量	3,210kg	3,210kg
経営管理指標	経産牛1頭年間粗飼料給与量	4,880kg	4,880kg
	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	200%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	2%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	15%以下	15%以下
乳飼比(経産牛当たり)	40%以下	40%以下	
所得率	20%以上	20%以上	

#### 2. 肉用牛経営

##### (1) 黒毛和種繁殖経営

区 分		旧目標数値	新目標数値	
生産管理指標	初産種付時(体重)	340kg	350kg	
	平均分娩間隔	12ヶ月以内	12ヶ月以内	
	生時体重	雄子牛	35kg以上	38kg以上
		雌子牛	30kg以上	30kg以上
	出荷時体重	雄子牛	270kg以上	290kg以上
雌子牛		260kg以上	260kg以上	
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上	
	流動比率	100%以上	100%以上	
	支払利息対売上高比率	4%以下	4%以下	
	減価償却費対売上高比率	15%以下	15%以下	
	所得率	30%以上	35%以上	

##### (2) 黒毛和種肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出荷月齢	28.0ヶ月以内	29.0ヶ月以内
	出荷体重	720kg以上	740kg以上
	1日当り増体重	0.78kg以上	0.78kg以上
	格付4以上率	70%以上	70%以上
	事故率	2%以内	2%以内
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	200%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	2%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	5%以下	5%以下
	所得率	12%以上	10%以上

##### (3) 乳用種肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出荷月齢	18.0ヶ月以内	20.0ヶ月以内
	出荷体重	750kg以上	780kg以上
	1日当り増体重	1.30kg以上	1.20kg以上
	格付3以上率	30%以上	30%以上
	事故率	3%以内	2%以内
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	200%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	2%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	7%以下	7%以下
	所得率	15%以上	8%以上

##### (4) 交雑種肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出荷月齢	23.0ヶ月以内	24.0ヶ月以内
	出荷体重	750kg以上	770kg以上
	1日当り増体重	1.00kg以上	1.00kg以上
	格付3以上率	60%以上	60%以上
	事故率	3%以内	3%以内
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	200%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	2%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	7%以下	7%以下
	所得率	15%以上	12%以上

#### 3. 養豚経営

区 分		旧目標数値	新目標数値	
生産管理指標	分娩間隔	150日	150日	
	繁殖部門	哺乳開始頭数	25頭以上	26頭以上
	肥育部門	離乳頭数	23頭以上	23頭以上
		出荷体重	115kg	115kg
	1日当り増体量	650g以上	650g以上	
経営管理指標	事故率	3.0%以内	3.0%以内	
	自己資本比率	50%以上	50%以上	
	流動比率	200%以上	200%以上	
	支払利息対売上高比率	2%以下	2%以下	
	減価償却費対売上高比率	10%以下	10%以下	
所得率	15%以上	15%以上		

## 畜産経営者協議会の開催について

2月15日、県内の中核農業者23名とJA畜産担当者16名の出席を得て、畜産経営者の情報交換を行い地域畜産の安定を図る目的で平成16年度畜産経営者協議会を開催しました。

### ①平成16年度畜産経営診断の中間報告について

#### ○酪農経営（販売価格・原価は生乳1kg当り）

分娩間隔	産乳量	体細胞数	販売価格	総原価
14.8ヶ月	8,366kg	416千個	106.1円	125.5円

分娩間隔は短縮したが、体細胞は多く生産コストも高かった。

#### ○肉用牛経営

##### 和牛繁殖経営（販売価格・原価は子牛1頭当り）

飼料畑	分娩間隔	子牛仕上率	販売価格	総原価
17.0a	13.0ヶ月	92.6%	486千円	529千円

##### 和牛肥育経営（販売価格・原価は枝肉1kg当り）

枝肉重量	出荷月齢	4等級以上	販売価格	総原価
434kg	29.0ヶ月	63.7%	2,153円	2,082円

##### 交雑種肥育経営（販売価格・原価は枝肉1kg当り）

枝肉重量	出荷月齢	3等級以上	販売価格	総原価
436kg	25.3ヶ月	46.0%	1,304円	1,201円

子牛・枝肉販売価格ともに良かった。生産コストは高かった。生産技術は、繁殖経営では分娩間隔は長く、肥育経営では枝肉重量がまだ不足であった。

#### ○養豚経営（販売価格・原価は枝肉1kg当り）

1腹当り 分娩子豚数	年間換算 雛乳子豚数	肉豚事故率	販売価格	総原価
11.6頭	22.4頭	5.6%	459円	397円

生産技術は向上した。原価は低減し、販売価格は高かった。

### ②高品質、安全な畜産物生産と販売の取組み

新潟県優秀経営表彰者と生産集団代表者がスクリーンを用いてポイントを紹介した。

#### ○酪農経営 藤田 毅氏 西蒲原郡岩室村

生産する生乳を原料としたジェラートを製造販売し付加価値生産を高め地産地消を進めている。給与する粗飼料の一部は自身も出資する（有）米生産組織で栽培した飼料用いねを購入して自給率を高め生乳の安全性を高くしている。

#### ○肉用牛経営 高橋勝美氏 東頸城郡松代町

資質の高い繁殖牛を野草等給与や放牧場を活用して体調を整えて分娩間隔を短縮している。制限哺乳を実施して、発育の良い子牛の生産を実現している。

#### ○養豚経営 生越利男氏 十日町市

妻有地域で銘柄豚妻有ポークを確立して、生産から出荷までHACCP方式で生産した肉豚を共同出荷して消費者から信頼を得ている。

また、グループ員は県畜産協会のクリーンポーク生産農場の認定を受け一層安全な豚肉生産を進めている。

### ③地域における家畜排せつ物処理の実態と今後の対応策について

始めに、県畜産課担当者から「家畜排せつ物処理と今後の対応について」家畜排せつ物法の管理基準の適用を受けない小規模な畜産農家を含めた関係者による巡回指導の実施や環境問題発生時には地域機関が連携して、当該農家の実態調査と指導を行い、管理基準に適合するよう改善を求める等説明した。また、全国の畜産農家の平成16年12月1日現在の「家畜排せつ物法施行状況調査結果の概要について」説明した。

次いで、JA担当者からの地域の状況について紹介があった。

ア 広域堆肥センター建設が進行し、堆肥利用を進めている。

イ 一次的に飼養規模の縮小を実施した。

ウ 冬期間の余剰堆肥処理が課題である。また、堆肥品質の向上を図って販売の促進に努める。

エ 飼養規模拡大希望者のふん尿処理が充分可能か課題である。また、小規模農家の処理も当面は簡易処理を行っているので課題となっている。

オ 一部でクリアー出来ないで、シート対応を行っているが根本的な対応が必要な事例がある。

カ 基本的には、土づくりということで、堆肥散布組合をつくって対応して行きたい。

以上のような意見交換が行われ終了しました。